

# 世界トップレベルの研究者の養成を目指して

- 科学技術・学術審議会人材委員会 第一次提言（概要） -

これからの我が国にとって、世界トップレベルの優れた研究者の養成は極めて重要な課題。関係者が人材養成の方向性を共有し、研究者養成に取り組むことが重要。

## トップレベルの研究者に求められる能力

予測が困難な最先端分野の研究  
異分野融合によるブレイクスルー



多様な人材の確保  
研究の視野の広さ、柔軟性



幅広い知識を基盤とした高い専門性  
（真の専門性）

## 研究者養成の現状と課題

- 博士課程の教育機能が不十分
- ・ 専門分野の幅の狭さ
- ・ 国際性、エリート養成の不足
- 大学院組織における同質性
- 博士学生が研究に専念できない
- ・ 経済的支援が不十分
- 博士、ポスドクの進路の問題
- ・ 企業への就職が少ない
- ・ ポスドク経験の評価が不十分

## 世界トップレベルの研究者を養成するための改革方策

### 改革の方向性

博士課程における教育機能の強化

大学院における研究人材の多様性の確保

博士課程学生に対する経済支援の充実

人材養成面における産業界との連携

### 具体的改革方策

教育的視点の強化、カリキュラムの改革、自立性の養成  
大学院の研究者養成機能強化のための支援  
博士学生の海外派遣の支援

教員採用における配慮  
・ 自校出身者比率の低減  
・ ポスドクからの採用の増

各種の支援制度のバランスある整備  
リサーチアシスタントの充実

産業界のニーズの反映  
・ 博士学生のインターンシップ  
人材養成における産学官連携の場の設置